

NO, 砂丘地砂防林環境整備推進協議会



地域(庄内) 活動地

北は月光川から南は日向川までの、おおよそ 12km の砂丘地砂防林内

団体紹介

設立年月：平成9年11月（1997年）

設立の目的：先人が苦労して植林したクロマツ林が荒廃してきているため、地域住民、子ども達と一緒に保全する目的で設立した。

組織の構成：稲川・西遊佐・高瀬地区の33集落、町議会議員、農業生産組合、農業委員、森林組合、JA 庄内みどり、地域住民代表、まちづくりセンターで構成している。

活動内容

I 後継者を育てる為の活動

1、学校での児童・生徒に対するクロマツ保全の講話



（高瀬小4年生への講話）



（遊佐中1年生への講話）



（野外学習）

毎年、年度初めに小学校に向いて4年生に先人の苦労と歴史を講話している。今年は中学生の1年生にも講話を行った。また、クロマツ林でも学習をした。

2、現場での体験を通しての育成



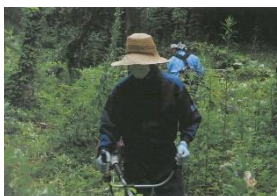
（藤崎小4年生の枝打ち体験）



（藤崎小・高瀬小4年生による植栽体験）

地域住民の協力を得て、枝打ち（6月11日）・クロマツ苗の植栽（11月11日）を毎年行っている。

II、地域住民ボランティアによる保全活動



33集落の地域住民が15ブロックに分かれて下草刈り等の作業を行っている。

活動を行っての感想

来年度も引き続きクロマツ林の保全活動を行いますが、特に保安林内の耕作地への植栽を進め、保安林復元に取り組みたい。